

第3回 議事録

[日時] 2014年8月27日(水曜日) 19:00～

[参加者] 佐藤(佑)、太田、鈴木、樋浦、尾谷、山本、伊勢、山田、小林、川本、堀、渡辺

[場所] 札幌リハビリテーション専門学校; 図書室

[書記・文責] 渡辺

[承認] 佐藤(佑)

[書類作成・検討]

●症例検討会の概要について(学術)

日程: 11月30日(日)

時間: 9時 受付

9時半 検討会開始

12時 終了予定

場所: 札幌リハビリテーション専門学校

内容:

- ・題数は4～6題を予定。1～3年目が対象とする。
- ・その内1つか2つは経験年数のある人が発表するようにして、患者様の評価内容、セラピストの思考過程を話す形にする。(職種は問わない)
- ・初回は同窓会の1期生などに依頼するのはどうかと考えている。
- ・発表する分野は問わない。
- ・今回は演題が決まり次第、ブース分けを行うか検討する。演題の分野にばらつきがあった場合には1つのブースで行う。コメンテータと司会は各1名ずつ配置予定。
- ・1人あたり約30分の持ち時間(発表5分・質疑応答25分を予定)
- ・発表形式は自由。内容は、臨床で悩んでいること、相談したいことを中心に行う。
- ・症例検討のお知らせは9月上旬ホームページにアップ、Facebookにもアップし、演者を募集する。
- ・募集締め切りは9月19日予定。1～3年目の役員は集まらなかった場合に備えて声掛けを行っておく。
- ・演者の最終決定は10月中旬予定。

演者決定後:

- ・演者決定後、開催のFAXを各病院に送信。11月23日を申し込み締め切りとする予定。
- ・案内文の作成は学術、送信は広報が行う
- ・FAXを送る日程は未定。

その他

- ・コメンテータは教員か経験年数の高いセラピストを予定。演題が決まり次第、募集をかける予定である。
- ・昨年度は、演者は交通費の支給。上限1万5千円となっていた。

症例検討に向けた各局の業務

学術：案内文の作成

事務局：ポイントの確認、名簿の作成

広報：学術から案内文をもらい次第、10 月上～中旬までに FAX を送っているようにする。

会計：謝礼の確認

●会計より報告

①9 期 PT の作内が退会。坪田さんが代わりに役員になった。

②交通費と食事代の申請方法について

- ・各局で集まった場合には、今後は締日と支払日を決めて行うことになった。
- ・各局で集まった場合、支払い出来るルールとしては各局員の過半数が集まり、事前に会計に報告（LINE 上）を行っている場合とする。
- ・クリアファイルに名簿が入っているので、集まった時には日付、出席者の欄に○をつけること。名簿表は 1 枚を原本とし、足りなかったらコピーすること。
- ・締日・支払日は年 3 回を予定。
- ・締日に会計にクリアファイルごと提出すること。
- ・全体での会議の支払いは普段通りの形で行うこと。

●局長会議での決定事項

- ・各局の USB のデータ整理が終了したら、バックアップ用に 1 本 USB を購入予定。
- ・ドロップボックスを使用し、どこでもデータを引き出せるようにしようと思っている。
- ・今後は局で出た問題点は一度、各局の LINE に乗せて問題点をまとめてから、局長会議に挙げること。
- ・退会する場合も同様に、各局で話をまとめてから全体へ報告すること。

●定例会について

- ・反応は良かったが、時間が延長し角田先生に負担をかけてしまった。
- ・役員が 8 名程度、外部から 5 名程度。合計 10～15 名程度で行った。
- ・事前に、発表者と進行の間で確認を行っておらず、時間が延長してしまった背景がある。
- ・今後の展開としては Facebook 上でのアナウンスなどを行うか検討していく。
- ・次回は 11 月を予定。発表者は役員内、もしくは外部から募集する。
- ・次回も副会長：太田を中心に進めていく予定。

●その他

同窓会のホームページ上の参加者ホームをクリックすると、情報を打ち込むフォームがある。その中で不必要な情報がある場合は削除を行うので、各局で確認し、相談すること。

[次回議案] 未定

[次回役員会予定日] 未定

場所；札幌リハビリテーション専門学校